

News Letter

vol.40
2020. 8月号

毎月発行

今月のよっしー

「アウトプットすること」

私自身、地域でどうやって医師を育てるかをテーマにずっと取り組んでいますが、今回「終末期在宅医療患者宅に医学生・研修医が泊まって学ぶ実習」について医学教育研究としてようやく形にすることができました (Int J Med Educ. 2020; 11:146-154)。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。是非ご笑覧ください。当講座の三つの柱として地域での診療、地域での教育、そして研究を調和させながら、前に進んでいきたいと考えております。今後ご指導の程よろしくお願ひします。



教授 吉村 学

PC論文
レビュー

「血清脂質値を測定するのに空腹である必要はない」

Association of nonfasting vs fasting lipid levels with risk of major coronary events in the Anglo-Scandinavian Cardiac Outcomes Trial-lipid lowering arm. JAMA Intern Med. 2019; 179(7): 898-905.

<論文のPECOと結果>

Patient : 8,270人の患者 (男性 82.1%, 平均年齢 63.4歳)

Exposure : 非空腹時の血清脂質値

Comparison : 空腹時の血清脂質値 (4週間空けての検査)

Outcome : 主要な冠動脈イベント (非致死的心筋梗塞+致死の冠動脈疾患)

<結果> LDLコレステロール値とHDLコレステロール値は、空腹時と非空腹時の測定値にはほとんど違いはなかった。中性脂肪値は非空腹時で25mg/dlほど上昇がみられた。脂質レベルと主要な冠動脈イベントとの関連は、空腹時と非空腹時の脂質測定で等しかった。

<コメント> 海外のガイドラインでは非空腹時の脂質検査値の使用を推奨するものもある (異常と判定する中性脂肪値: 非空腹時175, 空腹時150mg/dl以上、非空腹時440mg/dl超なら空腹時採血考慮)。これは患者さんにとってより楽であり、空腹でない患者さんの血液検査を次回に回さなくて済むようになる。空腹時、非空腹時それぞれの検査メリットを考えながら補完的に行っていくのが良いだろう。

講座スタッフ紹介

事務補佐員

染矢 由紀子

地域包括ケア・総合医療医学講座の事務補佐員として早4ヶ月が経ちました。その間に医学科6年生の実習や3年生の研究室配属実習などに携わらせていただきましたが、目標に向かって勉学に励む姿を間近で応援できることをとても幸せに感じています。コロナ禍で地域との交流はあまり出来ていないのですが、これからも地域・医療・教育の橋渡しが出来よう努力したいと思います。

地域医療・総合医学講座1年目の篠原と申します。

今年8月より講座の事務として勤務しております。これから学生実習や様々なプロジェクトに携わり、地域医療への理解を深めていきたいと思っています。事務として少しでも地域医療のお役に立てるよう精進しますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

事務補佐員

篠原 咲希

クリニカル・クラークシップⅡのオリエンテーションが開催されました。

7月17日（金）に医学科5年生を対象にしたクリニカル・クラークシップⅡのオリエンテーションが開催されました。当講座の吉村教授が全員必修の地域包括ケア実習の説明に加え、今期からの新しい取り組み「都農長期滞在型地域医療実習：通称Tsuno First Program」の説明も行いました。

後者はその名のとおり、都農町での長期滞在型（3ヶ月）の地域医療実習であり、いまや世界標準となっているこの長期実習に国内としては三重大に次いで取り組むことにしました。2度の説明会と事前課題の提出により対象学生を選考しましたが、多くの学生からの反響があり、大変嬉しく思っているところです。

また、10月26日（月）からスタートする地域包括ケア実習は今期3年目になります。今回も県内7医療圏での地域医療実習（一人当たり4週間）になりますが、学生実習を受け入れていただく医療機関の皆様ともしっかり連携を取っていきながら、講座としてもより良い実習となるよう努力していきたいと思っています。関係者の皆様、引き続きどうぞよろしくお願いたします。

なお、今秋に「地域包括ケア実習指導者講習会」をオンラインで実施予定です。詳細は追って通知しますのでぜひご参加をお願いします。



▲オリエンテーションで都農長期実習を説明

研究室配属実習、終了しました。

宮崎大学では、医学研究に対する考え方や心構えを持つため、医学科3年生を対象にした研究室配属実習を行っています。今年は新型コロナウイルスの影響で例年より1週間短く、7月6日（月）から7月31日（金）までの3週間でしたが、3年生5名が当講座で学びました。

宮崎市立田野病院や都農町国保病院での患者・医師アンケート調査をメイン研究としながら、串間や都農では先生方からの講話や訪問診療・回診の同行、看護学生とのワークショップ、フィールドワークやグラウンドゴルフ、健康運動教室への参加、訪問診療をテーマにした講演会参加など、地域医療や多様な地域活動に触れてもらいました。地域を知り、そこで暮らす人々との交流を通して感じたことも多かったと思います。様々な体験の間に田野病院や都農町国保病院での待合室でのアンケート調査を行っていましたが、最終週はそれらをまとめ、最終日には全員からの発表をしていただきました。吉村先生からの講評・修了証授与で3週間の研究室配属実習は終了しました。

今年も主に田野病院・串間市民病院・都農町国保病院の皆様にご協力いただきました。お世話になった全ての関係機関の皆様、今年もご協力いただき、本当にありがとうございました!!



▲都農の健康運動教室

3週間
お疲れ様でした!!



▲看護学生とのワークショップ



▼串間でのディスカッション



▼まとめの研究発表



宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiryoy@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

